



精神科医
瀬戸 睿

秋はあつという間に過ぎ、冬の寒さが訪れてきている。

世界は荒れ狂っている。

その中でも香港の状況は、中国の横暴と傀儡政権が目に見える。香港の100万の市民が「逃亡犯条例」（香港での犯罪者を他国に送って他国で裁かれる条例）に反対するデモを行っています。この条例は、今迄香港人の持っていた自由な権利の保障、司法の独立などが全てなくなり、他国（特

に中国）などに、民主化運動などで逮捕されたものを引き渡すことになるからです。これに若者が抗議をするのは当然のことです。一般市民も同調し100万人以上の大規模デモに発展したので

す。香港の高裁も、この条例を違憲として撤廃を求めました。そして選挙、市民派が8割強の圧倒的勝利。しかし、中国はこれを無視し、全人代（全国人民代表大会）常務委の決定こそが正しいといひ、それに反対することは許されないと、傀儡政権を突き上げ、警察権力を使いデモへの暴力を持つて大弾圧を加えているのが現状です。どこからどう考えても香港傀儡政権及び中国の方に理

はありません。闘う市民、学生が正しいのです。もともとは「一国二制度」という香港の立場が問題の基にあるのです。

日本でも他人事には思えません。今、沖縄はアメリカと日本政府によって押さえつけられています。米軍基地が70%あり、安倍政権が辺野古基地を無理やり作るとうしている。沖縄人の反対があつても強行している。

そこで、反対運動がデモという形になれば、中国と香港の傀儡政権と同じように徹底的に弾圧するでしょう。日本国民はその時、沖縄市民に運動して沖縄の独立運動に加担すべきです。その様な視点をごからの私達は持つべきでしょう。他人の空事のように思わないようにすべきです。



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎048-965-1151